

国 語

(小学校第 4 学年)

注 意

- 1 「はじめ」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 2 下のらんに、組、出せき番号、名前を書きましょう。
- 3 「はじめ」の合図があったら、別に配られているかい答用紙に、組、出せき番号、名前を書き、「A問題（基本^{きほん}）」からはじめましょう。
- 4 問題用紙は、全部で 1 1 ページあります。
「A問題（基本）」は、6 ページで、問題は **五** まであります。
「B問題（活用）」は、5 ページで、問題は **一** です。
- 5 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が 2 5 分、「B問題」が 1 5 分です。
時間に気をつけて解きましょう。
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 6 答えは、かい答用紙の決められた場所に、はっきりと書きましょう。
- 7 印刷^{いんさつ}がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげましょう。
問題の内容などのしつ問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	一 二 三 四 五	2 5 分
B問題（活用）	一	1 5 分
合 計		4 0 分

4 年	組	番	名前
-----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

□ 次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

とんと昔のそのまた昔、ももたろうが、おにが島からたから物をそっくり持っ
ていってしまつてからというものは、おには、たから物とはぜんぜんえんがない
のです。

「君は、たから物というものを知らないのかい？」

わにのおじいさんは、(※)、すつとんきような声を出しました。

そして、しばらく、まじまじと、おにの子の顔を見ていましたが、やがて、そ
のしわしわくちやくちやの顔で、にこつとしました。

「君に、わしのたから物をあげよう。うん、そうしよう。これでわしも、心おき
なくあの世に行ける。」

わにのおじいさんのせなかのしわが、実は、たから物のかくし場所を記した地
図になっていたのです。

わにのおじいさんに言われて、おにの子は、おじいさんのせなかのしわの地図
をしわのない紙にかき写しました。

(川崎^{かわさき}洋^{ひろし}「わにのおじいさんのたから物」による)

※えん・・・つながりがあること、関係があること。

※すつとんきよう・・・とつぜんで、調子はずれな様子。

問一 文章中の(※)には、ある言葉が

入ります。(※)にもつともよくあ
てはまる言葉を、次のア～エから一つえら
び、記号で答えましょう。

ア おどろいて

イ かなしくなつて

ウ いらいらして

エ よろこんで

問二 このお話には、せなかのしわという書き

方が二回使われています。これは、わにが
おじいさんであるということを表していま
す。この書き方のほかに、わにの様子から、
わにがおじいさんであることが分かる書き
方があります。それが分かるところを文章
中から十二文字でさがし、書きぬきましょ
う。

□ みきさんは、県の鳥であるコシジロヤマドリについてきょう味をもち、百科事てんで調べて分かったことをノートにまとめました。
これを読んで、下の問いに答えましょう。

【百科事てんに書かれていること】

コシジロヤマドリ

大きさは、オス125 c m、メス55 c m。

ヤマドリの中の一つで、南九州に多く住んでいる。オスの特ちょうは、尾がひじょうに長く、体全体がこい※かつ色で、白いはん点があることである。

メスの特ちょうは、全体てきに^{この}かつ色であることである。

宮崎県では、主に南の山地に好んで住み、朝や夕方に活動して、地面近くの植物やこん虫などを食べる。

1964年に宮崎県の鳥として指定^{してい}され県の※じょう例で保ごされている。



※かつ色・・・黒いちゃ色 ※じょう例・・・^{とどうふけん}都道府県などで決められたきまり

【ノートの一部】

◆ コシジロヤマドリ

○ 大きさ…………オス～125 c m、メス～55 c m

○ ① ……オス～尾がひじょうに長い
体全体がこいかつ色
白いはん点がある

メス～全体てきにかつ色

○ 住んでいる場所……南の山地

○ 食べるもの……

②

○ 1964年に県の鳥として指定^{してい}

問二

問一

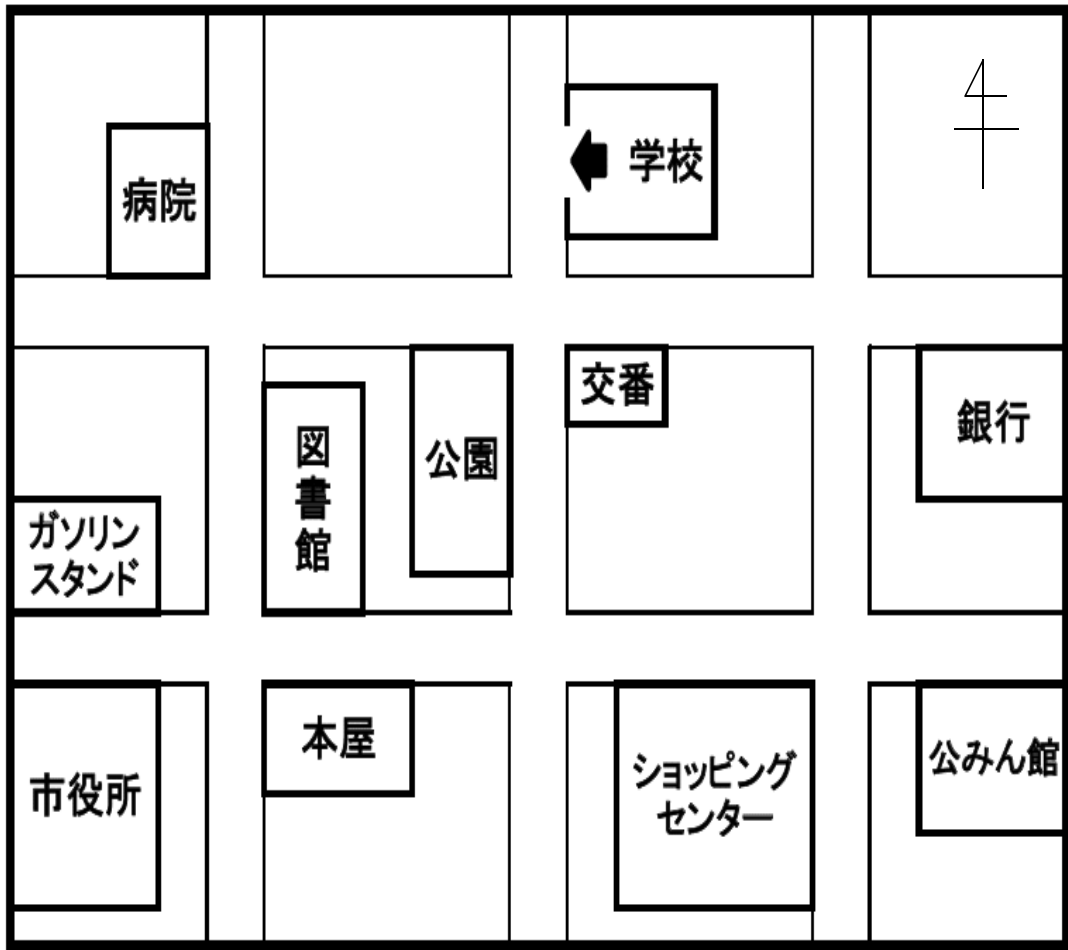
エ ウ イ ア
所員 実写 発動 数式

う。
国語じてんで「指定^{してい}」を調べ
る場合、どの言葉のあとに書いて
ありますか。次のア～エから
一つえらび、記号で答えましょ

う。
てはまる言葉を、【百科事てんに
書かれていること】の中からそ
れぞれさがし、書きぬきましょ
う。
① ・ ② にあ

三

次の地図を見ながら、下の問いに答えましょう。



問一

次の文は、上の地図のどこに道あん内しているでしょう。
 にあてはまる場所を書きましょう。

はじめに、学校を出て、左に曲がります。
 次に、まっすぐ歩いて、二つ目の交差点を右に曲がります。
こうさてん

それから、一つ目の交差点を通りすぎます。
 すると、左がわに

が見えてきます。

問二

道あん内をする時に大切なこととして、ふさわしいものを、次のア～オから二つえらび、記号で答えましょう。

- ア じゅんじょよく話す。
- イ 間をおかずに早口で話す。
- ウ 声の強弱をつけずに話す。
- エ 表じょうをかえずに話す。
- オ 相手の反のうを見ながら話す。

四 たかしさんは、先週のできごとを作文にまとめるために、下書きをしました。次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

先週の土曜日に、はじめて山登りをしました。

山までは、自動車で行きました。くねくねした山道を進んで行き、二時間くらいで登り口に着きました。登り口のちゅう車場には、たくさん車がとまっていて、こんなに多くの人が登っているんだと、びっくりしました。

じゅんぴが終わると、お父さんが、

「天気もいいし、ちよう上は、きつと気持ちがいいぞ。さあ、がんばるぞ。」

と言いました。ぼくは、わくわくして登りはじめました。

一時間くらいは、道が平らでゆるい登り坂だったので、どんどん足が進みました。

ところが、五合目くらいをすぎると、ごつごつした岩があり、手を使わないと登れなくなりました。ぼくはだんだんきつくなり、もうやめたいと思いました。すると、お母さんが、きついことをがまんして登るから、その分、ちよう上では気持ちがいいんだよ。と言いました。それを聞いて、ぼくはがんばりました。

ちよう上に着くと、ものすごくきれいな景色が待っていました。ぼくは、あきらめずに登って、本当によかったと思いました。今度は、もっと高い山に登りたいです。

問一 たかしさんは、自分の書いた下書きを読

み直して、「」を使った方が正しい表げ
んになるところがあると考えました。

「」で書いた方がよいところをさが
し、書きぬきましょう。

問二 文章中の——線の文を、文と文をつな

ぐ言葉を使って、二つの文に分けて書きま
しょう。

五 次の問いに答えましょう。

問一 次の「ア」の言葉の中で、はたらきがちがうものを一つえらび、記号で書きましょう。

ア 楽しい イ 早い ウ 暑い エ 走る オ 苦しい

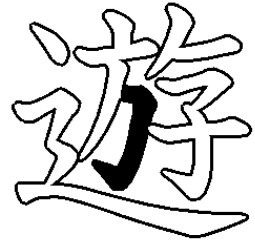
問二 次の文の——線部の言葉をローマ字になおして書きましょう。

石けんで手をあらおう。

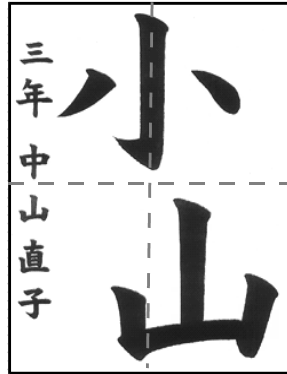
問三 次の(1)～(6)の——線部の漢字はひらがなに、ひらがなは漢字になおしましょう。ただし、漢字になおすとき、送りながあ
るものについては、送りがなも書きましょう。

- (1) おやつに、大ふくもちを食べる。
- (2) この料理は、家か庭の味である。
- (3) この薬はとても苦くくて飲のみづらい。
- (4) むしばをぬくことになった。
- (5) 遠足でちやばたけに行く。
- (6) しあわせな生活を送ることができる。

問四 次の漢字の黒くぬった部分は、何画目に書きますか。数字で書きましょう。



問五 次は、直子さんが書写の時間に書いた「小山」という毛筆の字です。直子さんの書いた字について、あなたならどのような点に注意して書いた方がよいとアドバイスしますか。もつともよくあてはまるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。



- ア 「小」をもう少し右に書いて、「山」の中心とそろえるように書く。
- イ 「山」を同じ場所に小さく書いて、「小」の右がわとそろえるように書く。
- ウ 「山」をもう少し左に書いて、「小」の中心とそろえるように書く。
- エ 「山」をもっと大きく書いて、「小」の左がわとそろえるように書く。

B 問 題

(十五分)

田村さんの学級では、社会科で、むかしのくらしについて学習したあと、さらに体けん学習をすることにしました。そこで、どのような体けん学習をするかアンケートをとりました。アンケートでは、次のような意見が出されました。

むかしの食事について調べ、
作ってみたいです。

むかしの遊びについて調べ、
遊びを体けんしたいです。

田村さんは、アンケートをもとに、学級で、しかい司会や記ろくなどの役わりを決めて話し合いました。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

田村	アンケートの回答の中に、むかしの食事や遊びについて調べて、体けんしたいというきぼうがありました。そこで今日は、むかしのくらしを体けんするために、どのような活動をしたらいかということについて、話し合います。司会はぼくがします。
小川	わたしが記ろくをします。記ろくノートをください。
中野	アンケートにもあったように、むかしの食事を作って食べる活動が楽しそうでいいです。
小森	おもしろそう。この地いきに伝わる食事がいいと思います。さっそく、みんなで何を作るか決めましょう。

田村	小川	田村	小川	東	中野	小森	田村
① ちよつと待つてください。アンケートには、むかしの遊びについて体けんしたいというきぼうもあります。小川さんはどうですか。	わたしは、先月、公みん館でむかしの遊びを体けんして楽しかったので、クラスでもやってみたらいいと思います。	それは、どんなふうに楽しかったのか、もつとくわしく話してくれますか。	② はい。公みん館の人が、お手玉やゴムでっぽうなどについて、道具の作り方や遊び方を教えてくださり、そのあと、みんなで遊びました。ふだん、そのような遊びをすることがないので、とても楽しかったです。	さんせいです。むかしの遊びを体けんすることで、むかしの子どもたちの生活がさらにわかると思います。	ぼくもさんせいです。ぼくたちの知らない遊びもたくさんありそうでおもしろそうです。	いいですね。遊ぶ道具を作ることも、体けんしてみたいです。	③ 今回は、 ③ にすると、今とむかしの子どもたちの生活のちがいや、私たちの知らない遊びなどがよく分かりそうなので、 ③ をすることにしたと思いますがいいますか。では、公みん館の人に、 ③ について、道具の作り方や遊び方をいろいろとたずねてみたいと思います。

問一 田村さんの ① のはつ言は、司会者として、どのようなところがよいでしょう。もっともよくあてはまるものを、次の

ア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア 話し合いを短い時間で終わらせようとしている。

イ ほかに出された意見も聞くようにしている。

ウ よく分からないことはしつ問してたしかめようとしている。

エ 自分の意見も言おうとしている。

問二 小川さんの ② のはつ言は、聞く人が分かりやすいように、どのような工夫をしているでしょう。もっともよくあては

まるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア 体験をもとに自分の考えを話している。

イ ほかの人の考えのまちがいを正そうと話している。

ウ 人から聞いたことを話している。

エ 自分がよそうしたことを話している。

問三 ③ にあてはまる言葉を書きましょう。

学級での話し合いをうけて、小川さんは、公みん館の人に次のような手紙を書きました。

■ 前文
■ 本文

はじめまして。

わたしは、西小学校四年三組の小川ひとみです。

今度、わたしのクラスで、むかしの遊びについて体けんする活動をしようと思います。
そこで、

A

来週の金曜日、午後四時に公みん館にうかがいますので、その時に少し相談させてください。ご都合はよろしいでしょうか。

それから、もし四年生向きのむかしの遊びについて書かれた資料しりょうがありましたら、みんなに見せたいと思うので、いただけないでしょうか。

おいそがしいところ、もうしわけありませんが、どうぞよろしくおねがいします。

■ 後書き

■ 後づけ

九月二十一日

ひむか市立西小学校四年三組

小川 ひとみ

ひむか市立青空公みん館

岩下 里子 様

問四

A

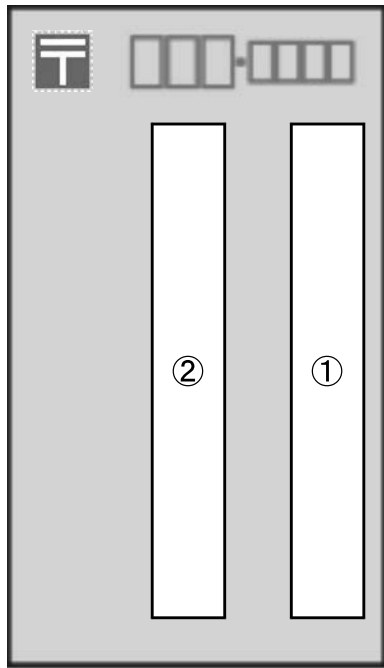
には、小川さんが公みん館の人に、教えてほしいことを書くようとしています。【話し合いの様子】をもとに、次のじょうけんに合わせて書きましょう。

「じょうけん（書くときのやくそく）」

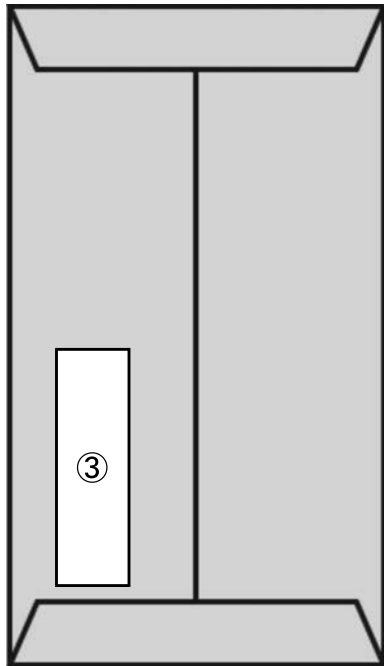
- 「そこで、」に続くように、**三十字以上、五十字以内**にまとめて書くこと。
- 文しゅうのおわりは、人におねがいするようないねいな言い方にする

問五

小川さんは、書いた手紙をふうとうに入れて、ゆうびんで公みん館に送ることにしました。次の①～③にあてはまるものを、それぞれア～ウからえらび、記号で答えましょう。



おもて面



うら面

- ア 相手の名前
- イ 自分の名前と住所
- ウ 相手の住所